





事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：唐澤千明 副会長：池田幸平 幹事：市川修次 公共イメージ向上委員長：杉本徳治



2019-2020 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは世界をつなぐ
 Rotary Connects The World

2019-2020 RI会長
マーク・ダニエル・マローニー
 <アラバマ州 (米国) >



第1527回例会 令和2年2月25日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 伊那中央ロータリー讃歌 平澤理ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介 (株)VC長野クリエイティブスポーツ 代表取締役 笹川星哉様

■ 会長談話 池田幸平副会長



本日は会長所用のため私が代理で会長談話をさせていただきます。
 世の中新型コロナウイルス関係の話題で大変な騒ぎになっていますが、一方国会では、もう今年の桜が咲こうというのに、未だに一年前の桜でいつまでも押し問答です。そんな議論に国会の開催費を一日3億円もかける価値があるのかと腹が立ちます。悪いことは悪いと謝り、攻める方も次から気を付けなさい、で非生産的な茶番劇は手打ちをして、国家の一大事に真剣に取り組んでもらいたいと思います。事は重大となってきました。我々のところにも火の粉が降り掛かってくるような気がします。原因は中国ですが、ここまで来たら世界中で戦わなければならない問題です。隣国ではり患した人達や周辺の接触者に国も住民もかなり厳しい措置をとっているようですが、日本では人権問題も絡み難しい問題だと思います。しかし人命にかかわる事ですので思い切った処置をとらなければならない場面も出てくると思います。テレビで濃厚接触者は隔離すべきかどうかというアンケートをとっていましたが、結果は79%が隔離すべきでした。ただし日本人は感染者に敵対するような態度はとらないと思います。地下鉄の隣の席の人がマスクをせずに咳をしたとして非常ボタンを押した停止事件のようなことは稀だと思います。最も咳をするのにマスクをしていなかったのも、このご時世では非常識だったと思います。皆神経質になっていることは確かです。普段咳をする私は今絶対に東京へは行けません。誰でもかかる可能性はあり、り患しても自分のせいではないのですから、そのことを皆で共有して天災だから仕方がない、皆で何とかしようという気持ちが大切だろうと思います。かかった方には優しく、そして我々がかからないように最大限の努力することが大切だと思います。明日は我が身です。そして政府は国民が動揺してパニックにならないよう、しっかり説明することが重要だと思います。韓国は当初日本を批判して馬鹿にしていたましたが、今では日本より多くなってしまいました。他国をむやみに批判するものでないと思いました。ここのところの報道で感じたことを述べてみました。

■ ニコニコボックス

- ◆池田幸平 本日は会長代理です。
VC長野クリエイティブスポーツ笹川様、卓話をよろしくお願い致します。
- ◆市川修次 本日は唐澤会長欠席です。池田副会長よろしくお願い致します。
長野クリエイティブスポーツ笹川様、卓話をよろしくお願い致します。

■ 幹事報告 市川修次幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



■ 委員会報告

・2月6日(木) 上伊那・下伊那グループ合同会員増強委員会の報告

小椋文成会員増強・プログラム委員長



2月6日に行われました第2600地区上伊那下伊那グループ合同会員増強委員会についての報告をさせていただきます。

古川ガバナーから挨拶をいただき県内の状況報告がありました。

久保田ガバナー補佐から上伊那グループの会員増強状況の報告がありました。

現状上伊那グループ内においては

伊那が純増数0名・駒ヶ根が純増数1名・箕輪が純増数0名・辰野が純増数-2名

伊那中央が森田さんに入会いただき純増数1名という状況でした。

上伊那グループ全体での純増目標が11名という中で現在純増数が0名という状況です。

下伊那グループ内においては

飯田が純増数3名・飯田東が純増数1名・飯田南が純増数0名・天竜川が純増数1名

下伊那グループ全体で純増数8名という中で現在純増数5名という状況です。

RIの流れについては

2016年規程審議会の決議で例会開催数、会員身分などを含めて柔軟性と多様性の導入を行い、昨年2019年にはより柔軟なクラブ運営を求めて

1つめにメイクアップの期間延長が行われました。

これはメイクアップの対象が「前後14日」から「年度内」へ変更されたということです。

2つ目に職業分類制限が廃止されました。

3つ目にロータリーアクトクラブが国際ロータリーへ加入されたということでした。

ロータリーアクトクラブの国際ロータリーへの加入については日本などが難色を示しているということでした。

また第2地域戦略計画推進セミナーにおいて

1つめに高齢会員の維持に対応した衛星クラブ創設

2つめに格安会費やネット例会への対応をしてヤングジェネレーションに対応したクラブまた、クラブ運営などが検討されたそうです。

また、退会者を出さないための工夫が必要とのことでした。

松本ロータリークラブでは通勤族が多く入会する特性などがあり、わかば会という入会年度の浅いメンバーや年齢が若いメンバーだけが所属する集まりがあり、その中でお互いに交流を深めていっているとのことでした。

また、RLIに若いメンバーを出して行って少しでもロータリーについて知ってもらう工夫が必要とのことでした。

2600地区については2019年末現在で会員数が1986名でした。地区の構成においては2,000名が1つの目安と言われている中で、2000名の維持が大切で、2000名を常時切るようだと他地区との再編も起こりうるとのことでした。他地区と再編されると長野県だけで地区運営ができなくなり、現在も他地区ではそのような状況が起こっているところもあるので会員維持をしっかりと行っていきたいと報告がありました。

以上です。

■ 出席報告

会員数48名 出席免除会員5名 長欠会員2名 本日出席者19名 事前メイク5名
出席率58.54% 前回出席率 修正なし

■ 卓話

(株)VC長野クリエイトスポーツ 代表取締役 笹川星哉様



「勝負において同じ方向を向く重要さ」

国内トップリーグV1に昇格し2年目のシーズン。

結果は3勝24敗の最下位（10位）でした。昨年の1勝26敗からは勝ち数も上げ、パナソニック・東レなど格上の相手とも互角に勝負ができるようになり、昨年から見ればチームは格段と成長したシーズンでした。それでも勝負の世界は

過程などで評価されることはなく、結果の世界。2年連続最下位という結果に大変申し訳なく感じております。そんなシーズンの中で勝つためには何が必要なのかを感じさせられました。

それは「同じ方向を向くこと、向かせること」

スタッフ・選手みんな「勝ちたい」という想いは常に持っていました。

しかしその「どうして」「どのように」という部分が明確でなく、リーグ前半戦は噛み合わずただ負けただけでした。選手ともたくさん衝突しました。

リーグも後半戦になり、次第に「降格の可能性」が近づいて来た時にチームとして「絶対V1残留」という明確な部分が現れ、その為にチームとして「どのようなバレーで」という会話が生まれ、選手達はそのチームスタイルの為に「何をしなければいけないのか（役割）」がはっきりし、バラバラだった「勝ちたい」が同じ方向を向いた「勝ちたい」に変わりました。

そこからは試合結果・内容・個人成績などが上がりました。

もっと早くその部分に気づいていれば最下位にはならなかったかもしれませんが、クラブにとって大事なことを得られたシーズンでした。

トップはしっかりと目的・目標に向かって全体を同じ方向に向かせるマネージメント能力が必要だと感じました。

■ 点 鐘

13:30

次回例会

3月1日(日) 上伊那グループI.M. (ホスト:駒ヶ根RC)

3月10日(火) 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店